

「家がいいね」 第64号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2009. 9. 15

言葉で治療する

病(やまい)、特に癌となれば「薬や放射線などで治療する」ことに、まず注意が向くかもしれませんが、だが、対話を重視する鎌田實さんは、あえて「言葉で治療する」視点を強調されました。

言葉の行き違いから、苦しい状況に追い込まれる患者さんがあまりに多いからです。「コミュニケーションが不足する責任の大半は、医療者側にあります。」



「分かっているはず」と発せられる言葉で、治療どころか傷つけられることには、いきどおります。

「もうすることがないので退院してください」と告げるのは、「あなたには生きる意味がない」とまで響くこともあるのを考えた言葉でしょうか？医療までが、派遣労働者を使い捨てる時のような、効率偏重の言葉を使つてはいけなと思います。苦しい時に生きる支えとなる言葉を持たなければと思います。病をもつ人の内部(魂)にも届く治療、それが言葉(対話)での治療と思います。

景気が良くなってほしい

生活が苦しい時に願う事の第一は、かつてこの言葉でしたが、最近「？」です。景気が良くなっても会社止まりで、生活までは楽にならず、悪くなれば負担は雇われる者に直撃し、救済は銀行や会社にまず「公的資金」注入(?)になります。この仕組み、そのものを変えてほしい気持ちですが、今度の選挙に流れたと思います。「まず景気回復」と言った自民党には理解できなかったのでしょうか。

往生安楽国

今を生きる力が欲しい。しかし孤独が誰をも包み込む社会です。生きる意味を宗教に求めず敬遠するのが大勢です。私はお坊さん達と話し合いを始めています。往生とはまず今を生きる事。



「終わりよければ」いせの会 体験講座

8月23日(日)に伊勢市観光文化会館 大会議室で「みんなを書いてみよう私のエンディングノート」を120名の参加で行いました。野原すみれさんは、



最初の講演で、人生の最期に避けては通れぬ介護では、自分を大切にして頑張らない介護が必要よと熱弁されました。沢山の分かりやすい著書は、当院で買い求めましたので、一度手にとってご覧下さい。

新型インフルエンザワクチン

10月からの選択実施が準備中です。しかし、ワクチンは感染を予防するものではありません！体に入った後の防衛手段です。ワクチンを絶対必要と考えず、予防と静養を第一に考えて下さい。

10月の臨時休業です

10月9日(金) 臨時 休院

津で神経難病の研修に参加します。「了承下さい。」

保険証の確認をさせていただきます

国民健康保険では、9月30日までに新しい保険証が送られて来ます。条件が変わる人もいますので、必ず確認させていただきます。その他の減額証明証なども同様です。いつも腹立たいのですが、ほとんどの人が内容変更は無いのです。年1回のこんな手続きばかりに、なぜ手間をかけるのでしょうか。多大の費用もかかります。前例だから？法の定めだから？延々続く「文書と手続きの王国」は、もう止めてくれと言いたいです。民主党でなくても、その交替は必然だったと思います。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>